## 令和6年(2024年)8・9月号 和歌山市立宮小学校

## 富







## めざす児童像

- ☆ 向上心をもってがんばる子
- ☆ 心が豊かでやさしい子
- ☆ 心身共に明るく健康でたくましい

## 「体験から育つ子どもたち」

校 長 川畑 豪則

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な姿、明るい声が、校庭に教室に戻ってきました。夏休み前に比べ、どの子も心身ともにひとまわり大きく、たくましく成長していることと思います。今年の夏も猛暑が続き健康面でも随分と心配しました。また、お盆を前に「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表され、各家庭において、地震への備えについて再確認されたことだと思います。2学期の学校生活においても、熱中症予防対策に、災害対策に引き続き取り組んでいきます。

夏休みのスタートには、「宮フェスタ」が開催されました。暑い中でしたが、大勢の地

域の方や子どもたち、卒業生が来てくださり、あちこちで笑顔いっぱいの1日になりました。当日の運営にご協力いただいた育生会役員の皆様、宮フェスタ実行委員会の皆様、本当にありがとうございました。また、夏休み前半には、ラジオ体操を実施している地区においても、保護者の皆様のご協力をいただく中で、子どもたちがラジオ体操カードをもって集まる様子が見られました。改めてお礼申し上げます。さらに、「ボランティアの山田博美さん」には、玄関の花壇や、校舎裏の学年・学級菜園のお世話を、夏休み中も毎日行っていただき感謝の気持ちでいっぱいです。保護者・地域の方々のご協力のおかげで、子どもたちは楽しく有意義な夏休みを過ごすことができました。ありがとうございます。



1年で最も長く行事の多い2学期がスタートしました。2学期の初めはまだまだ残暑が厳しくなりそうですが、徐々に気候もよくなり、学習やスポーツに取り組みやすくなってきます。秋の遠足、県学習到達度調査(4・5年生)、運動会、学校開放週間(ふれあい交流給食・土曜参観含む)、修学旅行、市音楽会など、大きな行事があり、これらの体験を通して、子どもたちは大きく成長していくことでしょう。体験の中には、楽しいこと、嬉しいことばかりではなく、苦しいこと、辛抱しなければならないことなど、人の感性に働きかけ、対処方法を考えなければならないことが多くあります。体験を通して出会う課題にしっかり対応していくことが、心身ともに成長する力となります。

「今日の運動会の練習、しんどかった? 上手にできた?」などの声掛けをし、お父さん・お母さんの運動会の体験談を聞かせてあげてください。そうすることにより、子どもたちは辛くても粘り強く取り組むことができ、達成感を味わうことができます。ご家庭でもご支援よろしくお願いいたします。